

## 23 私たちの「日本国憲法」

### 1 主 題 基本的人権

### 2 主題・教材について

「日本国憲法」第11条においては、「国民は、すべての基本的人権の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する基本的人権は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与えられる。」と明示されている。その基本的人権の具体的な内容は、第40条にまで及んでいるが、大きく分けると、「平等権」、「自由権」、「社会権」、「請求権」、「参政権」となる。また、近年は、産業の発達や科学技術の発展、情報化の進展などの時代の変化に伴って、「日本国憲法」に直接的に規定されていないが、「環境権」、「自己決定権」、「知る権利」、「プライバシーの権利」など、従来の概念に収まりきれない「新しい人権」が社会的に確立されつつある。

このような状況の中、私たちは、日常の多くの場面において、人権に対して無自覚である。また、人権を抽象的に捉えていて、自分とのかかわりを感じないことも多い。

そこで、この教材では、日本国憲法の条文をわかりやすい言葉で表現した絵本を通して、基本的人権が具体的にどのようなものかを考える契機としたい。さらには、身近な人権について考えるアクティビティ（「一歩前へ進め」）を行い、基本的人権についての認識を深めるとともに、基本的人権を尊重する態度を身に付けさせたい。

- ### 3 ねらい
- 基本的人権について、より具体的な認識を培う。
  - 基本的人権を尊重する態度を身に付ける。

### 4 展開例

過程	主な学習活動	指導上の留意点	備考
導 入	「あなたは、あなたの人生の主人公」を読んで話そう。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本文（P.90～P.91）を読み、感想を出し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 詩と憲法の条文を読み比べてもよい。</li> <li>• 詩から受ける印象などは、憲法が国民を守るためにつくられたものという理念と深く結びついていることに気づかせたい。</li> </ul>	
展 開	アクティビティ「一歩前へ進め」をしよう。		資料 役割カード 状況のリスト DVD(BGM)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アクティビティ「一歩前へ進め」を行う。</li> <li>• アクティビティのふり返りを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「進め方」に沿って、ファシリテーター（豊かなコミュニケーションを育み、1人1人の力が活かされるプロセスを作る進行役）として進行する。</li> </ul>	
ま と め	「日本国憲法」を読もう。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本文（P.92～P.93）を読み、アクティビティ「一歩前へ進め」で演じた役割の人物にかかわりの深い条文を見つける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「日本国憲法」で保障されている基本的人権が、具体的な人々の暮らしと結びついていることを押さえる。</li> </ul>	
	学習をふり返ろう。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学習をふり返り、感想を出し合う。</li> </ul>		

- ### 5 発展
- 「日本国憲法」の条文（P.92～P.93）を自身の言葉や絵などでわかりやすく表現する活動を通して、基本的人権についての理解を深める。

◆ねらい

- ・自分とは異なっている他者に対する共感を促進する。
- ・社会における機会の不平等についての意識を高める。
- ・マイノリティ集団に属することによって生じるかもしれない結果についての理解を促進する。
- ・私たちの生活においては、基本的人権が憲法によって保障されていることに気づく。

◆準備物

- ・役割カード（学級・学校の実態に合わせて作りかえたものがよい）
- ・状況のリスト
- ・ふり返しシート

◆注意事項

当該のクラスの児童・生徒の家庭状況などに照らし、いずれのカード内容についても、それに合致する、ないしは、似たような境遇にある者がいないことを確認してから実践してください。もし、該当者がいると思われる場合には、そのカードは使わないでください。

◆参考資料：公益財団法人 人権教育啓発推進センター

『コンパシート【羅針盤】子どもを対象とする人権教育総合マニュアル』

進め方

1 活動A

- ① アクティビティに入る前に次のような話（導入）をする。

「今までに自分が誰か他の人であるとしたら、と想像をしたことがありますか。」

「このアクティビティでは、自分が別の人物、例えば、自分は外国人であるというような想像をしてもらいます。」
- ② 「役割カード」を渡す。

「これからそれぞれに、あなたになってもらう新しい人のことが書き込まれている『役割カード』を渡します。渡されたカードは声を出さずに読みましょう。また、自分の役割を他の人に知られないようにしましょう。書かれている言葉の意味が理解出来ない場合は、順番に説明にいきますので、黙って手を挙げ、静かに待っていてください。」
- ③ 「役割カード」に書かれた人物を具体的にイメージさせる。なお、この活動については、生徒の発達段階を踏まえ、簡略化して展開することも考えられる。
  - a 「『役割カード』に書かれた人物をイメージして、自分に名前を付けてください。そして、その名前を書き込んだ名札を作りましょう。あなたがなろうと想像しているその対象人物のことを忘れないようにするためのものです。他の人に見せてはいけません。」
  - b 「あなた自身の姿を想像しましょう。どのような衣服を身に着けていますか。」
  - c 「あなたの家や部屋を想像しましょう。」

※ 「役割カード」に書かれた内容についてわからないことがあっても、自分の想像力を働かせて具体的に考えるよう指示する。

※ 役割についての質問はしないように伝える。
- ④ 生徒たちが想像をさらに広げられるよう、次のような質問を読み上げる。ただし、考えたことを声に出してはいけないことを伝える。なお、この活動については、生徒が十分に人物像を具体化できるよう時間をかけて行うことが望ましい。
  - a 「あなたはどこで生まれましたか。小さかったとき、あなたはどのような子どもでしたか。小さい頃、あなたの家族は、どのような家族でしたか。今は違いますか。」
  - b 「現在、あなたはどのような日常生活を送っていますか。あなたはどこに住んでいますか。」

あなたはどの学校に通っていますか。」

- c 「あなたは朝はどのようなことをしていますか。午後はどのようなことをしていますか。夜はどのようなことをしていますか。」
- d 「あなたはどのようなゲームをしたいですか。誰と遊びますか。」
- e 「あなたの両親はどのような仕事をしていますか。両親は毎月どれくらいお金を稼いでいますか。あなたは一定の生活水準を保っていますか。」
- f 「あなたは休日にどのようなことをしていますか。ペットを飼っていますか。」
- g 「あなたはどのようなことにわくわくしていますか。あなたはどのようなことがこわいですか。」

※ 静かな音楽を流したり、目を閉じさせたりすることも考えられる。[DVDの活用]

- ⑤ 十分にイメージができたところで、「状況のリスト」を読み上げる。その状況が自分の想像している人物に当てはまる場合は一歩前に出ることを説明する。

「声を出さずにスタートラインに並び、説明を聞きましょう。今からいろいろな状況を話します。そのことが自分の想像している人物に当てはまると思う人は、一歩前へ出ます。当てはまらないと思った人は、その場を動かさないでください。1回につき1つずつの状況を聞き、動くかどうか、声に出さずに冷静に判断します。では、読み上げます。」

※ 子どもに考える時間を与えるために、1回ごとに少し時間をおく。

※ すべての状況について、このプロセスを繰り返す。

- ⑥ すべての「状況のリスト」を読み終えた後、次のように話しかけ、ロールプレイから抜け出させる。

「その場に静かに座り、目を閉じましょう。」

「先生が1・2・3と数えたら、それぞれ本当の自分の名前を呼びましょう。」

「これでアクティビティは終了です。これから、ふり返りをします。」

(朱書き部分は、書き加えたところです。)

## 2 活動B

- ① アクティビティをふり返るため、次のような質問をする。

a 「このアクティビティではどんなことが起こりましたか。」

b 「あなたの役割を演じるのはやさしかったですか。それとも難しかったですか。」

c 「あなたが演じた人物をどのような人と想像しましたか。そのような人物をあなたは知っていますか。」

d 「あなた自身がその人物であったとしたらと想像するとき、どんな感じがしますか。」

- ② アクティビティを差別と社会的・経済的な不平等の問題に関連づけるため、次のような質問をする。

a 「前に進んだとき、あるいは進まなかったとき、どんな感じがしましたか。」

b 「あなたがしばしば前進したとしたら、他の人たちがあなたほど進んでいないことに、どの時点で気づきましたか。」

c 「あなたが想像していた人物は前に進みましたか。それとも進みませんでしたか。また、それはなぜですか。」

d 「なにか不公平なことがあると感じましたか。」

e 「このアクティビティの中で起きたことは、現実世界で起こることと似ていますか。または、どのように似ていますか。」

f 「私たちの社会の中で、ある人々には他の人々の場合よりも多くの機会を与えているものは何でしょう。あるいは機会を少なくしているものは何でしょう。」

※ 質問に答えている生徒がどんな役割で、どんな状況に置かれ、どんな気持ちでいるのかを、他の生徒たちに想像させる。

※ これらの質問の合間に、適宜、発言者に自分の役割を発表させる。

※ 全ての子どもに発言する機会を与え、その役割が何であるのかを周りの生徒に知らせる。

※ 互いの意見等をしっかり聞くことができるよう、輪になって座ってもよい。

## 役割カード

あなたは16才です。あなたと2人の兄弟は、大きな庭とプールがある素敵な家に住んでいます。あなたのお父さんは、町の銀行の支配人です。お母さんは、家にいて家事をしています。

あなたは15才です。あなたは、両親と弟や妹と一緒に地方の村に住んでいます。あなたの両親はパン屋を営んでいます。あなたは、時々、学校でいじめられます。

あなたは16才で、3人の子どもたちの中で最年少です。家族は大都市の小さなアパートに住んでいます。あなたのお父さんは機械工ですが、現在は失業中のため、あなたたちにはお金がありません。

あなたとあなたの両親は、南米から仕事を求めて働きに来ました。あなたは現在15才で、10才のときからここに住んでいます。あなたはいつ母国へ帰ることができるかわかりません。

あなたは18才で、6人の子どもたちの中で一番年上です。あなたのお父さんはトラックの運転手で、家にいないときが多くあります。あなたのお母さんは食堂で働いていて、しばしば夜も働かなければなりません。あなたは弟や妹の世話をたくさんしなければなりません。

あなたは17才です。あなたは赤ちゃんの時から児童養護施設で暮らしています。あなたは両親が誰なのか知りません。

あなたは、この町で生まれましたが、あなたの両親はアジアからここへ移住してきました。両親はレストランを営んでいて、あなたはレストランの上の階にある部屋で妹と住んでいます。あなたと妹は、学校が終わるとレストランを手伝います。あなたは16才です。

あなたは一人っ子です。あなたはお母さんと2人だけで、市内のアパートに住んでいます。お母さんは工場で働いています。あなたは、音楽とダンスがたいへん得意です。あなたは17才です。

あなたは18才で、双子の兄弟がいます。あなたたちはスーパーマーケットで働いているお母さんと市内のアパートに住んでいます。あなたたちのお父さんは3年前から行方不明です。

あなたの両親は、あなたが赤ちゃんの時に離婚しました。現在あなたは15才です。あなたは母親とその恋人と一緒に住んでいます。週末には、あなたは父親とその新しい妻、そしてその人の2人の幼い子どもたちの家を訪ねます。

あなたは障害があるため、車いすを利用しています。あなたは市内のアパートに両親と2人の姉妹と一緒に住んでいます。両親はどちらも教師です。あなたは16才です。

あなたにはぜんそくがあり、特に、冬は病気のためかなり学校を休まなければなりません。あなたは、家ではテレビを見たり、インターネットをしたりして過ごします。両親は仕事に行ってしまうので、時々不安になります。あなたは16才です。

あなたとあなたのお兄さんは、数学、物理学、言語、そして実際多くのことにおいてたいへん才能に恵まれています。両親は大学教授です。両親は、受験に備えて、あなたに予備校に入りなさいと言います。あなたは17才です。

あなたは18才です。あなたと妹は、地方の小さな町で母と祖父母と一緒に住んでいます。あなたの両親は離婚して、あなたのお母さんは市内の飲食店で働いています。あなたはめったに父親と会いません。

○「状況」と出来事

1. あなたとあなたの家族には、いつでも、ニーズを満たす十分なお金があります。
2. あなたは、電話とテレビがある立派な家に住んでいます。
3. あなたは、他の人と違った外見や身体障害のために、いじめられたり疎外されたりすることはありません。
4. あなたと一緒に暮らしている人々は、あなたに関わる重要な決定について、あなたの意見を聞いてくれます。
5. あなたは、学校に通っていて、放課後はクラブ活動に参加しています。
6. あなたは、放課後、音楽と絵画の課外授業を受けています。
7. あなたは、警察官に呼び止められることをこわがっていません。
8. あなたは、あなたを愛し、常に心からあなたのことを考えてくれる大人と住んでいます。
9. あなたは、あなたまたはあなたの両親の出身、素性、宗教、文化などのために差別されていると感じたことはありません。
10. あなたは、病気でないときでも、定期的に専門の医師の検診を受けています。
11. あなたとあなたの家族は、年に一度はバカンスに出かけます。
12. あなたは、家に友だちを招待し、いっしょに夕食をとったり、泊まってもらったりすることができます。
13. 卒業したら、あなたは大学に行くことができるか、または好きな仕事や職業を選ぶことができます。
14. あなたは、街角で、学校で、住んでいる場所で、いじめられたり、攻撃されたりすることを心配していません。
15. あなたは、いつも、あなたと同じような外見をして、あなたと同じように生活している人々をテレビや映画で見ます。
16. あなたとあなたの家族は、少なくとも月に一度は映画、動物園、美術館、郊外、その他の楽しい場所に出かけます。
17. あなたの両親、祖父母、曾祖父母は、みなこの国で生まれました。
18. あなたは、必要な時に新しい服や靴を手に入れています。
19. あなたは、遊ぶ時間がたくさんあり、遊ぶ友だちがたくさんいます。
20. あなたは、コンピュータを利用して、インターネットを利用することができます。
21. あなたは、自分ができることを評価され、すべての能力を開発することを後押しされていると感じています。
22. あなたは、大人になったら幸せな未来を手に入れるだろうと考えています。